

KOTOオンライン・マガジン

～各校の実践②～



今回のKOTOオンラインマガジンでは南陽小学校、大島南央小学校での授業実践を紹介し
ます。どちらの学校も研究推進員の担当教員が中心となって、先生方がICT活用指導力を高め
ています。

4年生の外国語活動、2年生の生活科でのChromebookを活用した授業実践です。どちら
も「こどもたちの活動をよりよくするための手段」として活用されていました。

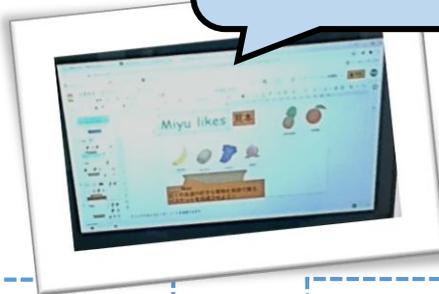
「Do you like～?」 ～南陽小学校3年生の実践～

デジタルワークシートとして活用

果物のイラストとテキストボックスが挿入され
た「スライド」を使用しながら、自分の好きな
果物を友達に伝えたり、友達に好きな果物を
聞いたりします。

イラストを移動させ
たり、スライドを増や
したりすることができます！

こどもの実態に応じ
て、紙のワークシ
ートを選択することも
できるよう準備！



デジタル教材

「カラーで見やすい資料配布」「イラストを
タッチして動かすだけの容易な操作」など、
デジタルならではの良さを生かした教材

「外国語活動」におけるこどもたちの
「英語による表現」・「やりとり」
が活発化しました。

「あきのおもいでをつたえあおう」 ～大島南央小学校1年生の実践～

伝え合うための資料として活用

一人一人が前時までの学習で見つけた「秋」
について、撮影した画像を使って友達と伝え
合います。

オクリンクのカード
で準備。写真だけ、
写真+文字などこど
もたち自身がまとめ
方を選択します。

各クラスの実践を廊
下に掲示して、こど
もも先生も活動を共
有しています！



写真や動画

「はっぱシャワー」や「〇〇のおもちゃ」な
どこれまでの活動の振り返りが容易にで
きます。

こどもたちの「伝えたい」という意欲
が高まるとともに、「私も楽しかった」「私
は〇〇だと思った」など伝え合う活
動が活発化しました。